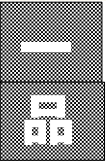


こぼれ話

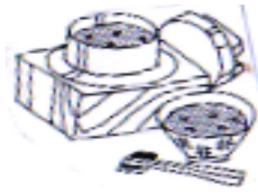
宮古地方は野菜類も魚介類も豊富である。夏の時期の魚菜市场には新里地区・墓目のお母さんらがトウモロコシのゆでたばかりの物を店頭に並べ売っている。それを目当てに買いに来る客も少なくない。ある夏の日、Aさんの家に東京から中学時代の同級生(女性)がお盆で帰省したついでに立ち寄った。お茶を飲みながら昔話に花が咲いた。

わが家の一品



【ワカメの茎と根シヨウガの和え物】

「材料」ワカメの茎、根シヨウガ、ニンジン、エノキダケ、お酒、みりん、めんつゆ、出汁の素。



「つくり方」そろそろワカメの茎が回る季節を迎えますね。養殖ワカメの収穫が始まると一気に回り出すので、この茎を使っ

こども医療費

県は今年8月より中学生までの医療費窓口負担を現物給付(窓口で支払はなくてよい)とすることを決めました。現物給付は多くの父母の切実な願い、「本当に助かる」という歓迎の声が寄せられています。

県は今年8月より中学生までの医療費窓口負担を現物給付(窓口で支払はなくてよい)とすることを決めました。現物給付は多くの父母の切実な願い、「本当に助かる」という歓迎の声が寄せられています。昨年8月からは県の事業として小学生まで窓口での支払方法が現物給付



読者の文芸欄

短歌 金沢邦臣(田鎖) 間違いが一つ起こりて皆笑い今日が始まる朝の食卓 温暖化おそれて覗く庭の土ワロツカスの芽早くも出でおり 自注/早々と福寿草が咲いて、温暖化を怖れ、庭の土をよく見たら、小さい針のような芽がやはり出ていました。

採卵数2億粒で前年比43% / 北上川水系捕獲数前年比21%

先が読める極めて深刻な事態に



サケ漁は一部の定置網等を除き事実上終了しています。今期のサケ漁はいつそう深刻です。採卵数と回帰率を勘案すれば4~5年後はさらに沿岸全体の採卵数は従来4億粒超ですが今期は2億440万粒と前年比43%です。平成27年度~30年度の4ヶ年の宮古での平均回帰率は0.718%で、これを当てはめると、この春に放流するサケの4~5年後の回帰予想数は57万尾(沿岸全体での今期の捕獲尾数は76万尾~海+河川)となります。「先が

読める」と言うのはそういう意味です。河川水温の高い北上川水系での捕獲数も激減 従来北上川水系に遡上するサケは水温が高くて大丈夫、と指摘されてきましたが、県内で宮城県にいちばん近い一関地方の砂鉄川、磐井川、衣川(いずれも1級河川)など13河川での捕獲数は1499尾で前年比21.0%と大きく減少しています。その原因は定かではありませんが、海も河川も深刻であることは共通しています。大震災と連続する台風で養殖施設の損壊など放流事業はダメージを受けました。また地球温暖化、海水温の上昇、過密養殖などが指摘されており、その究明と対策が求められます。

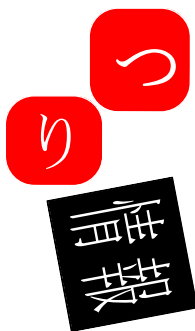


たかが溪流釣り、されど、である・・・

市町村が高校卒業まで実施 2月1日現在、児童生徒の医療費無料化は表題の通りで全市町村の66%という到達です。宮古市の場合は中学生までを無料としています。市はすでに子育て支援として保育料無償化、副食費無料などを国の対象より広げ実施しています。が、来年度の経営方針には児童生徒の医療費無料事業の対象拡大にはふれていません。

明日の宮古を担う児童生徒の健やかな成長を推進する一助であるこの医療費無料化の推進は、SDGs(持続可能な開発目標)に接近する事業でもあります。共産党市議団はこの課題でもこれまで以上に奮闘します。

【お詫びと訂正】 先週号の被災事業所支援の記事で「利子補助額総額は2376万円」と記述したのは台風10号時の総額でした。大震災からの利子補助総額は2億1892万円の記述が抜けていました。



最近田老の撰待川上流を観察してきた釣り吉の話では、河原にも雪がなく「釣りになんねんでねえのが」と話している。それだけ奥山にも雪が少ないのである。いささか闘争心が萎える。

釣り吉の女房の意見は単純明瞭である。「新型コロナウイルスの流行のように『今年の溪流釣りは全面禁止とします』って決めればいいのす。大体が『自然環境保護が大事故だ』って言いながら吾の欲望だけは満だそうですんのがぶんまづがってんのす」と鋭い。

溪流釣り解禁まであと1週間余である。今年はお盆で29日までであり、解禁日の3月1日は日曜日である。